

国際ロータリー第2790地区 第8グループ

創立1957年3月23日



イマジン  
ロータリー

# 銚子ロータリークラブ会報

第3199号 2023年2月1日(水)発行

例会場 銚子商工会館5階大会議室 (銚子市三軒町19-4)

TEL0479-23-0750 FAX0479-25-8789

Email d2790@choshi-rotary.club HP <https://www.choshi-rotary.club>

◇第66代会長 高瀬幸雄 ◇副会長 佐藤直子 ◇幹事 淵岡彰介

## 本日のプログラム

「出前教室を終えて」

上総 泰茂職業奉仕委員長

須永 清彦会員 常世田 祐一会員

## 前回例会報告(1月25日)

銚子・銚子東RC合同例会 犬吠埼ホテル

点鐘(18時):高瀬 幸雄会長

国歌君が代斉唱

ロータリーソング:奉仕の理想

ビジター紹介:

千葉科学大学 入試広報部 参与 宇田川 敬介様

千葉科学大学RAC 直前会長 木原 正稀様

## 会長挨拶



本日は久しぶりの銚子と銚子東ロータリークラブとの夜間合同例会になります。

本日のお客様は千葉科学大学 入試広報部 参与 宇田川敬介様とローターアクトクラブ直前会長の木原正稀様をお迎えしています。宇田川様には後ほど卓話をお願いしています。宜しくお願い申し上げます。

2020年1月15日に日本でコロナ感染が確認されて3年が経過しました。今日は4年目に入っていることとなります。コロナ感染は収束していませんが政府はウイズコロナの方向に舵を切っています。指定感染症の分類も2類から5類への移行も検討されている状況です。

そして、日本の感染者累計が3千万人を超えました。コロナ感染当初は死を連想させられましたが、今はその恐怖感が薄らいでいることも事実だと思います。

そんな中、年が明けうさぎ年を迎えました。うさぎ年は飛躍の年、平穏な年そして向上する年と云われています。ここにお集りの皆様と一緒に飛躍し、平穏で生活が大いに向上する年になることを祈念し会長挨拶と致します。

## 幹事報告

【週報拝受】八日市場RC、小見川RC

1. コーディネーターニュース 2023年2月号
2. RLI リアル開催再ご案内
3. MCR レポート 12月分
4. 環境セミナーのご案内  
…ガバナー事務所
5. IMのご案内  
…第8グループガバナー補佐
6. 確定申告用寄附金領収証についてのお願い  
…公益財団法人ロータリー日本財団

2022-23年度ジェニファーE. ジョーンズRI会長テーマ  
IMAGINE ROTARY  
イマジン ロータリー

2790地区 小倉純夫ガバナー(松戸RC)スローガン  
ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、  
千葉から世界を変えていこう!

製作◇広報・会報委員会 山本肇 五十嵐亘 大岩将道 須永清彦◇

卓 話 「喜ばれる不可思議」  
千葉科学大学  
入試広報部 参与 宇田川 敬介様



千葉科学大学入試広報部参与の宇田川と申します。東学長よりのご紹介で、卓話をさせていただきます。まずは自己紹介ですが、昔はマイカルというスーパーマーケットの法務部、そして国会新聞社の編集次長と仕事を変えてきました。その間の経験を書いて本にし、作家もしております。

作家として本を残すと、様々な分野の方と出会いがあります。「民主党の闇」という本を書いたとき、当時民主党政権の支持率が高かった時でしたから、民主党の議員からはかなり嫌われましたが、そんな中で、私の本をたくさん買って講演会を開き、このような考え方もあると紹介していただいたのが、当時民主党の議員であった東学長でした。学長とは、その頃からの付き合いになります。

さて「震災後の不思議な話」という本では、東日本大震災後のボランティアを通して見たり、話を聞いたりした三陸の幽霊の話を書きました。その本ではテレビ番組をやっているビートたけしさんや、UFOの映画を作っているスピルバーグさんとお知り合いになったのです。今回は、皆さんに差しさわりのないように、スピルバーグさんの話をしたいと思います。

私の本の中に「火の玉」が出てきます。儀遺体があって、その上に光る球があれば、日本人ならば火の玉であると思うでしょう。その物語を、福島原発事故の後のUFOの話をドキュメンタリー映画にしたいと考えていた彼が読んだらしいのです。

火の玉は「魂」という私と、「UFO」という彼

の話はなかなかかみ合いません。そして、最後には「火の玉も、幽霊も、日本では浮いているのだから UFO の一部」ということになったのです。その後撮影にお付き合いさせていただいた時、アメリカから来たスタッフは全員が違う宗教で、火の玉の解釈が偏らないようにしたのです。そのような配慮が、彼のすごい所かもしれません。

さて彼は何故映画を作るのでしょうか。映画は自分の妄想を映像化し、ストーリーをつけて共感を得られる道具です。彼は黒澤明監督の映画を見て、これ以外はないと感じたようです。そして多くの人に、自分の映画に関連して、妄想やストーリーを作ってほしいと思っています。そして彼の妄想とストーリーに刺激があれば、ここ銚子にもスピルバーグさんがここにきて卓話をしてくれるかもしれません。

このことを銚子市や千葉科学大学に役立てるとどうでしょう。

若者が集まり、自分の妄想を発表し、それを受け入れて称賛してくれる社会があれば、次世代のスピルバーグがここ銚子の馬に集まるのではないのでしょうか。決して切り取った映像ではなく、今若者が求めているのはストーリーです。彼ら自身のストーリーを実現できる土地にして、銚子の皆様や千葉科学大学がこれからも発展することを願っています。





懇親会



開会挨拶

銚子東 RC 石毛園子会長



乾杯

銚子東 RC 飯田貴之会長エレクト



進行：熊澤親睦活動委員長





閉会挨拶  
佐藤直子会長エレクト

【出席報告】 移動例会 全員登録100%

【M U】  
1/28 補助金管理セミナー 宮内(秀)君

次週（2月8日）プログラム

「会員卓話」 東 祥三会員

お弁当：膳（幕の内）